

おしゃべりコーナー

2017年12月提出者のご意見・ご感想

❀家計簿ありがとう 特集

★これが最期の提出かと思うと胸がキュンとします。

私の人生の一番大変な時をこの家計簿で支えて頂きました。年間をつけ通して図書券を頂き、その図書券で一番読みたい本の代金の一部にする・そんな時もありました。目まぐるしく変わる時代だからこそ家計簿の重要性を感じています。長い間お世話になりました。

また機会が有りましたらぜひ参加させてください。(58歳)

★今回が最後の提出になりました。

家計簿をつけ続けたことによって問題点が見える化され、不安が減り、安心して我が家の健全な家計とライフプランを守り抜けたと思っています。

様々なイベントにも参加し、多くの主婦の方と語り合えたり、セミナーで勉強したり、人生を生き抜いていく上でプラスになったことは数え切れません。心から感謝しています。本当にありがとうございました。(62歳)

★最後の提出となりました。

家計簿は生活の大切な羅針盤です。

どんな変化のときも乗り越えることができました。

大変お世話になり、ありがとうございました。(68歳)

★結婚以来生協の家計簿を付けてきました。子どもが生まれ、成長し、夫が退職して3年です。子どもの教育費、住宅ローンなど、常にこの家計簿は我が家と一緒に歩んできました。二人で始まった家族ですが、子どもが独立して再び二人になりました。最後まで生協の家計簿と一緒に歩むのかな、と思っていましたが、終わりということで、お世話になりました。そのうち二人が一人になり、誰もいなくなるでしょう。家計簿ってそういうものだと改めて思いました。家族と一緒にですね。(64歳)

★いよいよ最終回となりました。世の中の流れとしては、家計の一元化が主流でなくなりつつあり、家計簿から世の中が見えなくなりつつあります。夫婦が別会計になると、家庭の家計管理はどうなるのでしょうか？「へそくり」「内助の功」は死語になるかもしれません。(60歳)

★結婚して始めた家計簿も、もう30年になります。コツコツ節約したり、マンション購入で大きく家計や暮らしが変化した事が懐かしくもあり誇らしくもあります。主人の単身赴任やら子ども達の成長の過程でお金の流れが複雑になって大変だったことなど家計簿が証人ですね。あと少しで主人が定年を迎え、またまた不安ですが、楽しく笑って過ごせたらと思います。提出は最後ですが、家計簿つけは終わりません。頑張ろうと自分に言い聞かせ今日も家計簿を開きます。(53歳)

★色々御世話様でした。家計簿つけて45年。

よく続いたものです。(66歳)

★今回でいよいよ最後の提出になりました。

家計簿をつけていたおかげで、収入が下がった時も教育費が一番多いときも家計を把握でき、計画的に安心して乗り切る事が出来ました。

一年間頑張ると謝礼が頂けるのも励みになりました。COOPさんには感謝しています。担当者様お疲れ様でした。どうぞお元気で。(47歳)

★とうとう最後の提出になってしまいました。

高齢者夫婦の暮らしは毎日が日曜日、何か急いでしなければならぬ仕事もありません。

私にとって毎日の家計簿記入と15日の家計簿提出は、いい緊張感でした。いろいろな年代の方のおたよりを読むのも楽しみでした。組合員参加推進部のスタッフの皆様本当にありがとうございました。(70歳)

★長い間ありがとうございました。

家計簿をつけていたからこそ、今の老後があると思います。お金の把握することが大事。(63歳)

★長い間、大変お世話になりました。

モニターをやったので、家計簿が続けられました。これからは続けていきます。周りで家計簿をつけている人は少なく給料振込額しか知らない人が多いことに驚きます。毎月同額で必要なのは使える金額だけなどの理由で。私は、社会保険や税金の差し引かれる金額も重要だと思っるのは、家計簿をつけていたからこそでしょう。はじめは紙の提出で計算が大変でした。

やがて、エクセルで表計算を作り、印刷して提出。

そして、ついにこのようにWEB提出となり、本当に簡単になりました。終了するのは大変残念です。(52歳)